

活動テーマ

「観光・地域資源の活用と支援並びに保護活動」

飯能市西吾野地区 獨協大学

1. 活動目的

我が国の過疎化問題は各地で進んでおり、我々が活動している飯能市西吾野地区ではこの問題が顕著であると言える。飯能市周辺部および山間部は、いわゆる中山間地域であるため、高齢化、過疎化が進み農林業や地域活動の維持が困難となる地域が多く存在する。このような過疎問題を解消すべく私たち獨協大学高松ゼミナールは西吾野地区で地域活性化活動を行った。

2. 活動地域の現状

地域の現状は西川材に代表される豊かな森林と空気の澄んだところである。しかし、西吾野駅前には商業施設や人通りも一切なく静かな印象である。また、電車の本数は1時間に2,3本と都心に比べかなり少ない。さらに、少子化の影響で小学校は統廃合が進められている。西吾野地区の現状は極めて過疎化が進んでいると言える。

3. 活動内容

6月15日	トレイルラン エイドステーション
8月19日～23日	野菜集配活動
8月24日	吾野塾祭り
11月17日	お散歩マーケット
11月23、24日	もみじ祭り
11月30日	飯能ジビエBBQ
12月7、8日	ゴルフ場販売イベント
1月24日	飯能市役所にて打合せ
2月7日	ふるさと支援隊報告会
2月20日	講演会WS
その他の活動	
3月4日	石鹸作り
4月中	吾野まち歩き
4月28日	たけのこ狩り
5月7日	お散歩マーケット

《6月15日》

飯能で開催されているトレイルランのエイドステーションが旧北川小学校に設けられ、そこでエイドステーションのお手伝いを行なった。今回はトレイルランの参加者がかなり多く仕事量も多かった選手らを鼓舞することができた。

エイドステーションの活動は、トレイルランに参加している方への簡単な食べ物と水を配布することである。今回は沢山の参加者があったため、その準備や配布には、事前練習を含めて当日はスムーズにできた。



<8月19~23日>

野菜集配活動を行なった。今年度は4日間、兼業農業をやっている農家さんのもとを訪れ、野菜の収穫のお手伝いを行い、その野菜を包装し販売までを行なった。

収穫方法だけでなく、栽培や野菜の知恵なども教えていただき、とてもいい機会になった



<8月24日>

吾野宿まつりでは、お絵かきせんべいという店を出店させて頂いた。

8時半に集合して地域の方とまつりの準備をした。また、自店ブースだけでなく、地域の方々の屋台の手伝いもして、地域の方々の関わりが深まり、私たちのふるさと支援隊活動の周知にもつながった。

お絵かきせんべいは予定枚数の100枚を祭り終了間際ぎりぎりに完売できた。



<11月17日>

黒指・細田地区の間野黒指で開かれたお散歩マーケットでは車両整備と片付けを手伝わせて頂いた。参加者は800名近く集まり、外国の方も多く見受けられた。交流するには非常に良い機会だった。吾野地区の中でも規模の大きいイベントであったため地域活性化の軸になるのではないかと思った。



<11月23、24日>

もみじ祭りでも駐車場整備の手伝いをさせて頂いた。初日は雨で客足は去年の半分以下であったが、二日目は天気が回復し客足も伸びた。10時から15時にかけて駐車場は満車が続いた。飯能市の特徴である豊かな自然を有効活用したイベントである印象を受けた。



<11月30日>

飯能ジビエ BBQ では会場の準備・片付けから BBQ で使用する具材の準備を手伝わせていただいた。飯能窯で作られた陶芸作品を鑑賞した後に地元のジビエを頂いた。かまどを囲んで地元の方々と交流する機会もあり貴重な体験だった。

<12月7、8日>

ゴルフ場販売イベントは雨天のため中止となった。

<1月24日>

飯能市役所にて打合せを行った。

ここでは次年度の野菜廃販売などについて、懇談的に打合せがあった。

<2月7日>

ふるさと支援隊活動報告会にて報告を行った。

今年の活動では、前半に集中していたため、最終報告会では後半の活動を中心に行った。

沢山の質問もあり、今後の活動に役立てたいと思った。

<2月20日>

講演会 WS を行った。

<その他の活動>

3月4日 4月中のまち歩き、タケノコ堀などの地域交流実施。

成果

昨年度と同様に飯能市で行われたイベントやまつりなどに、埼玉県ふるさと支援隊として、地域からの要請に応えるかたちで運営協力を行った。数年ぶりに吾野宿まつりの運営に加え、支援多としての店を出店し、地域の方と一緒に盛り上げることができた。

また、昨年度に引き続き飯能市で農業支援を行った。これは飯能市の兼業農家の支援で、我々は野菜集配・販売の手伝いを手がける活動であり、その活動の一環として各農家を訪れ様々な発見があった。

今回の大きな発見は、各農家が工夫をして栽培していることである。苗から生育する過程では、様々な困難に直面しながら工夫されていて大変勉強になった。こうして大切に育てられた農作物を集配することで、大変喜んでいただけた。また、販売では、通常マーケティングなどで机上で学ぶことを実践に結び付けることに喜びを感じた。販売を終え、農家の方に報告したときには大変喜ばれた。と同時に、大変やりがいのある支援と感じた。

4. 課題

今年度は、とくに天候が不順で、台風の影響があったり、雪の影響があったりしたため、思うように活動ができなかったのが残念であった。そのため、昨年度に比べ活動回数が減ってしまった。

5. 次年度以降の計画

新しく入ってきたゼミ生に飯能のことを知ってもらうため、飯能の町あるきを行い、地域の方々との交流をしたいと思う。そして、実際に過疎地域の実態を見て、地域活性化に関して現実的に考えてもらう必要がある。また、例年同様、飯能市で行われるイベントや行事の運営協力を行っていく。

次に、今年度から制作を開始したフェノロジーカレンダーの作成を継続する。現段階では飯能に住んでいる方から情報を得たり、地元の小・中学生からアンケートを取っており、これをより現実的な形にすることである。最後に、来年度も開催が決定しているトレイルランの大会に運営協力、ランナーとして参加することで大会と共に飯能市も盛り上げることがあげられる。